

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 RC文系/SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	生物基礎	Class hours 時間数	2 時間 / 週
----------------------------------	---------------	---------------------------------	------	--------------------	----------

1学期 中間試験 Term 1 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	生物の共通性と多様性 細胞とエネルギー	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『生物基礎』 第一学習社
------------------------------	------------------------	-------------------------------------	--------------

Unit Description 単元の概要	生物の基本単位としての細胞について、構造と機能の点から再確認する。 呼吸や光合成といった同化・異化について、機能を再確認する。
---------------------------	--

Class Standards 評価規準

Learning Objectives 学習内容

楽	A3	B3	C3
好	A2 ①ことからの結びつきを理解する。 ②単純な現象の結びつきからより複雑な現象が起こるとわかる。 ③既知の実験手法をなぞって追試できる。	B2 ①知識の結びつきを比較して結びつくことを一般化して理解できる。 ②実験結果・諸現象を生じる要因について、考察することができる。	C2
知	A1 ①基本的な用語を知る。 ②実験器具や薬品の名称・役割を知る。 ③得た知識を一問一答形式で答えられる。 ④メモを書き、情報を整理できる。	B1 ①文章を理解して作図できる。 ②実験結果を比較・分類し、分析できる。 ③得られた知識（実験結果）の関係を考察し、ルールを見出せる。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking

A3	B3	C3
A2 ・外見的特徴や、基本単位である細胞の観点から生物の特徴を再確認する ・自然界における同化・異化を再確認する	B2 ・細胞の機能・構造について、身の回りのものや現象と結び付けて一般化し、再確認する ・同化・異化といった反応を、身の回りのものや現象と結び付けて一般化し、再確認する	C2
A1 ・生物の共通性について再確認する ・原核細胞・真核細胞について再確認する ・呼吸・光合成について再確認する	B1 ・細胞の構造について、作図し理解する ・共生説の流れを作図し、説明する ・呼吸・光合成についてATPの動態を併せて作図し、単純化して理解する	C1

Others 備考	<評価方法> 定期試験・確認テスト
--------------	-------------------

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 RC文系/SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	生物基礎	Class hours 時間数	2 時間 / 週	
1学期 期末試験 Term 1 Final						
Name of Unit, Project 単元名	遺伝子とその働き 体内環境と恒常性		Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『生物基礎』 第一学習社		
Unit Description 単元の概要	遺伝子研究の歴史について知り、それらがDNAの構造とどのような関わりがあるのかについて再確認する。 また、DNAの複製から細胞分裂までのつながりを再確認する。 体液の種類と組成について再確認し、それらに含まれる成分や機能を再確認する。					
Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽	A3	B3	C3	A3	B3	C3
好	A2 ①ことからの結びつきを理解する。 ②単純な現象の結びつきからより複雑な現象が起こるとわかる。 ③既知の実験手法をなぞって追試できる。	B2 ①知識の結びつきを比較して結びつくことを一般化して理解できる。 ②実験結果・諸現象を生じる要因について、考察することができる。	C2	A2 ・DNAの機能・構造とその研究史を結び付けて再確認する ・DNAの複製から細胞分裂までの流れを細胞周期と併せて再確認する	B2 ・体液の種類やその役割について、身の回りのものや現象と結び付けて一般化し、再確認する	C2
知	A1 ①基本的な用語を知る。 ②実験器具や薬品の名称・役割を知る。 ③得た知識を一問一答形式で答えられる。 ④メモを書き、情報を整理できる。	B1 ①文章を理解して作図できる。 ②実験結果を比較・分類し、分析できる。 ③得られた知識（実験結果）の関係を考察し、ルールを見出せる。	C1	A1 ・DNAの研究史について再確認する ・DNAの機能・構造について再確認する ・細胞分裂について再確認する ・セントラルドグマのシステムについて再確認する ・体液の種類とその役割について再確認する	B1 ・細胞分裂の流れを作図し、理解する ・遺伝子発現までの流れを作図し、単純化して理解する	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			
Others 備考	<評価方法> 定期試験・確認テスト					

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 RC文系/SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	生物基礎	Class hours 時間数	2 時間 / 週
----------------------------------	---------------	---------------------------------	------	--------------------	----------

2 学期 中間試験 Term 2 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	体内環境の維持の仕組み 免疫	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『生物基礎』 第一学習社
------------------------------	-------------------	-------------------------------------	--------------

Unit Description 単元の概要	<p>循環器系・排出系の構造・機能について再確認する。</p> <p>併せて自律神経系、各種ホルモンの機能についても再確認する。</p> <p>免疫反応について、これに関わるリンパ球や、自然免疫・獲得免疫（体液性・細胞性免疫）について再確認する。</p>
---------------------------	---

Class Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
楽 好 知	A3	B3	C3	A3	B3	C3
	A2 ①ことがらの結びつきを理解する。 ②単純な現象の結びつきからより複雑な現象が起こるとわかる。 ③既知の実験手法をなぞって追試できる。	B2 ①知識の結びつきを比較して結びつくことを一般化して理解できる。 ②実験結果・諸現象を生じる要因について、考察することができる。	C2	A2 ・循環系・排出系といった一連の経路について再確認する ・自律神経系と各種ホルモンの関係や機能、起こる現象を結び付けて再確認する	B2 ・免疫について、身近な疾患や現象と結び付け、一般化して再確認する	C2
	A1 ①基本的な用語を知る。 ②実験器具や薬品の名称・役割を知る。 ③得た知識を一問一答形式で答えられる。 ④メモを書き、情報を整理できる。	B1 ①文章を理解して作図できる。 ②実験結果を比較・分類し、分析できる。 ③得られた知識（実験結果）の関係を考察し、ルールを見出せる。	C1	A1 ・心臓の構造と血液の循環について再確認する ・肝臓の構造・機能について再確認する ・自律神経系の分布について再確認する ・各種ホルモンの機能について再確認する ・自然免疫・獲得免疫といった生体防御について再確認する	B1 ・血液の循環について作図し、単純化して理解する ・各種ホルモンの作用する流れについて作図し、単純化して理解する ・獲得免疫の流れについて作図し、単純化して理解する	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> 定期試験・確認テスト
--------------	-------------------

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 RC文系/SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	生物基礎	Class hours 時間数	2 時間 / 週
----------------------------------	---------------	---------------------------------	------	--------------------	----------

2 学期 期末試験 Term 2 Final

Name of Unit, Project 単元名	植生の多様性と分布 生態系とその保全	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『生物基礎』 第一学習社
------------------------------	-----------------------	-------------------------------------	--------------

Unit Description 単元の概要	世界や日本のバイオームについて再確認し、森林の遷移について正しく理解する。 生態系というシステムを生物の相互関係並びに物質循環というそれぞれの観点から再確認する。
---------------------------	--

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
察	A3	B3	C3	A3	B3	C3
好	A2 ①ことからの結びつきを理解する。 ②単純な現象の結びつきからより複雑な現象が起こるとわかる。 ③既知の実験手法をなぞって追試できる。	B2 ①知識の結びつきを比較して結びつくことを一般化して理解できる。 ②実験結果・諸現象を生じる要因について、考察することができる。	C2	A2 ・光環境と階層構造、森林の遷移を結び付けて再確認する ・気候要因とバイオームとを紐づけて再確認する ・生態系を生物の相互関係や物質循環といった観点からシステムとして再確認する	B2 ・植生・バイオームを身の周りの環境に置き換え、一般化して再確認する	C2
知	A1 ①基本的な用語を知る。 ②実験器具や薬品の名称・役割を知る。 ③得た知識を一問一答形式で答えられる。 ④メモを書き、情報を整理できる。	B1 ①文章を理解して作図できる。 ②実験結果を比較・分類し、分析できる。 ③得られた知識（実験結果）の関係を考察し、ルールを見出せる。	C1	A1 ・森林の階層構造について再確認する ・陰生植物・陽生植物について再確認する ・森林の遷移について再確認する ・世界・日本のバイオームについて再確認する ・生態系における食物網のような相互作用について再確認する	B1 ・森林の遷移の過程を作図し、理解する ・気候要因に基づき世界のバイオームを比較・分類し、クライモグラフを作成する ・	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> 定期試験・確認テスト
--------------	-------------------

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校2年 RC文系/SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	生物基礎	Class hours 時間数	2 時間 / 週
----------------------------------	---------------	---------------------------------	------	--------------------	----------

3 学期 学年末試験 Term 3 Final

Name of Unit, Project 単元名	総合演習	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『生物基礎』 第一学習社
------------------------------	------	-------------------------------------	--------------

Unit Description 単元の概要	センター模試やセンター本試験の過去問を通じ、正確な知識の獲得と補遺を行う。
---------------------------	---------------------------------------

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽 好 知	A3	B3 ①見出したルールを未知のものに適用し、結果を推測できる。 ②作業仮説に基づき、演繹的に実験の設計をすることができる。	C3	A3	B3 ・より多くのセンター試験形式の問題に触れ、実際の出題傾向を把握する	C3
	A2 ①ことからの結びつきを理解する。 ②単純な現象の結びつきからより複雑な現象が起こるとわかる。 ③既知の実験手法をなぞって追試できる。	B2 ①知識の結びつきを比較して結びつくことを一般化して理解できる。 ②実験結果・諸現象を生じる要因について、考察することができる。	C2	A2 ・センター模試や本試験の問題に触れ、多くのパターンを解き、経験を積む	B2 ・選択肢を選択する際の根拠について明確化する	C2
	A1 ①基本的な用語を知る。 ②実験器具や薬品の名称・役割を知る。 ③得た知識を一問一答形式で答えられる。 ④メモを書き、情報を整理できる。	B1 ①文章を理解して作図できる。 ②実験結果を比較・分類し、分析できる。 ③得られた知識（実験結果）の関係を考察し、ルールを見出せる。	C1	A1 ・問題集の演習問題を解く	B1 ・実験・現象にまつわる問題を、図を使って単純化し理解する	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> 定期試験・確認テスト
--------------	-------------------